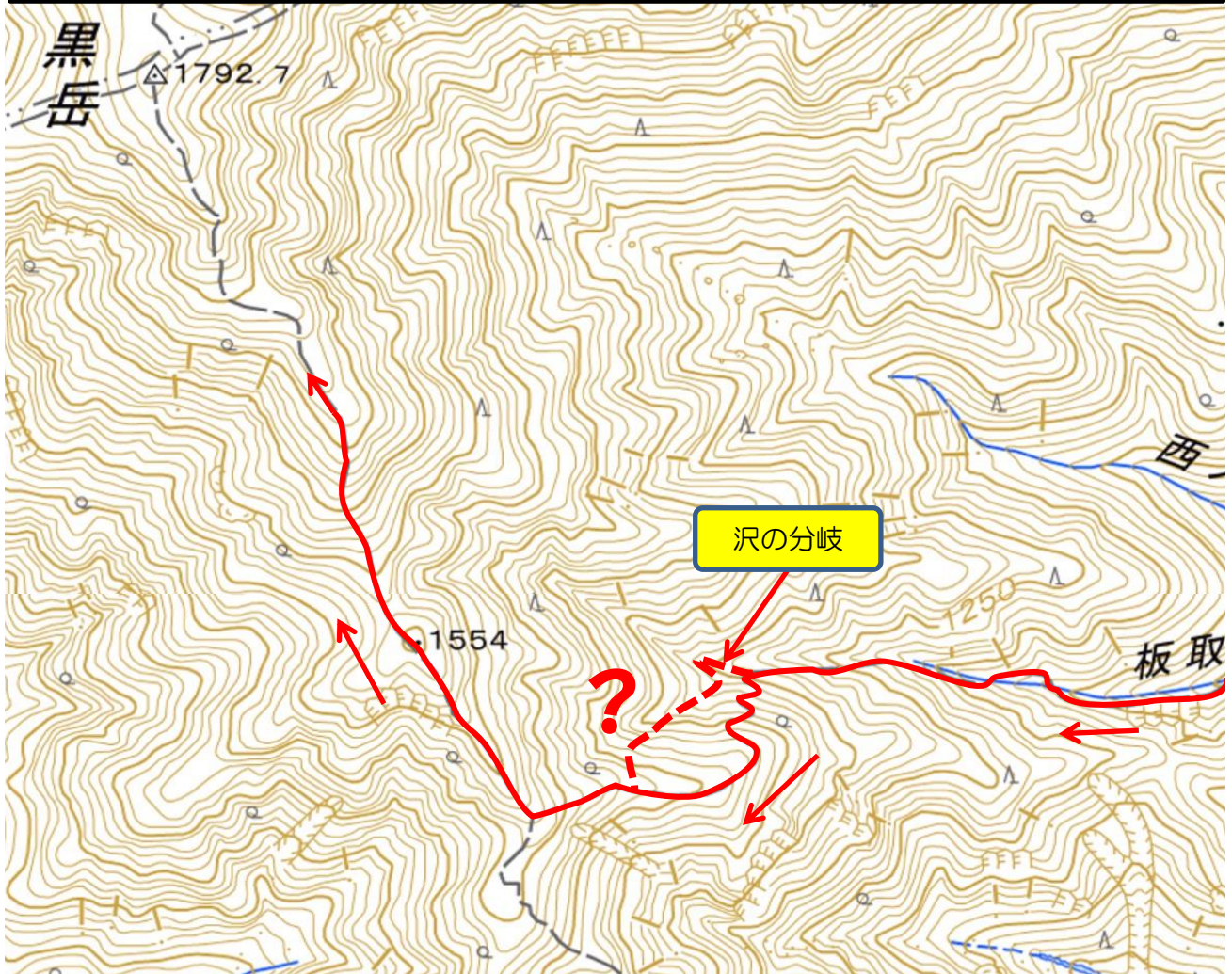


黒岳(2018年12月)

尾根への取り付けを見落とし、赤テープに引き込まれて沢筋を直登。急斜面を無理やり登り登山道にでた。



解説

板取沢から尾根への取っ付きを見落とし、沢筋を直登して登山道へ出る羽目に。ピンクテープに引き込まれて取っ付き点過ぎてしまったようです。急斜面を突っ切って登山道に出ましたが滑落危険大。反省です。

反省：初めてのところは地理院地図も持っていくところを今回は持たず。登山地図だとコメントの文字と重なり位置関係がわかりずらかった。もう少しだけもどれば分岐が見つかっただろうが時間を惜しんだ点ですね。(HP参照)

このケースは、よくあるあるの事例。「沢の分岐が出てきたら行き過ぎなので戻る」というストップする先読みが必要である。幸いにも南西の沢と北西の沢の分岐はコース上に1か所しかないため先読みするには容易に設定できる。しかしながら、先読みをしていないと「とりあえず上に登っていけば何とかなるだろう?」という感覚になってしまう。『根拠なく進む』行動は、道迷いを更に悪化させてしまうのだが、今回の事例では、登りのため運よく登山道に出た。「あれ??おかしい?」と思ったときには、時間を惜しんではいけない。納得する根拠を見つけるまで行動を控えるべきである。この時間が道迷い防止には必要な時間だと思う。